

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 SBIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8473 URL <http://www.sbigroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 北尾 吉孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 森田 俊平 TEL 03-6229-0100
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	179,179	2.7	30,661	△38.1	20,414	△35.9	20,254	△42.9	10,848	△80.1
27年3月期第3四半期	174,526	△1.8	49,549	33.4	31,827	51.1	35,490	75.8	54,649	51.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	95.29	87.70
27年3月期第3四半期	163.92	151.45

(注) 連結損益計算書については、当期の第1四半期より、営業利益を表示せず収益と各費用を表示する方法に変更いたしました。この変更に伴い、遡及して当第3四半期の表示方法に合わせて組み替えております。詳細は添付資料の5ページ「要約四半期連結損益計算書」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,336,851	419,024	374,063	11.2
27年3月期	3,400,763	430,615	383,491	11.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 平成28年3月期における期末配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

当企業グループが展開する投資・証券関連事業をはじめとする金融事業全般は、その特性上、株式市場等の変動要因による影響が極めて大きいため、業績予想の開示は行っておりませんが、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な業績予想が可能となった場合には、速やかにその開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	224,561,761株	27年3月期	224,561,761株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	12,788,190株	27年3月期	8,046,610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	212,553,719株	27年3月期3Q	216,502,408株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。また、この説明会で配布した資料、動画等につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

・平成28年1月29日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
要約四半期連結損益計算書	5
要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 継続企業の前提に関する注記	10
(6) 要約四半期連結財務諸表注記	10
収益	10
重要な後発事象	10

※ 本第3四半期決算短信の添付資料においては、第3四半期連結累計期間を「第3四半期累計」、前連結会計年度を「前期」と記載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計の経営成績につきましては、収益が179,179百万円(前年同期比2.7%増加)、税引前利益は30,661百万円(同38.1%減少)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は20,254百万円(同42.9%減少)となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、前期まで「金融サービス事業」に含めていた一部の子会社(モーニングスター株式会社及び株式会社セムコーポレーション(※)他)については、当期の第1四半期より「アセットマネジメント事業」に含めております。このため、前第3四半期累計についても当期のセグメント構成にあわせて組み替えております。

(※)株式会社セムコーポレーションは、2016年1月4日付でSBIエステートファイナンス株式会社に商号変更いたしました。

	収益			税引前利益		
	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計		前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金融サービス事業	116,612	115,037	(1.4)	53,254	37,448	(29.7)
アセットマネジメント事業	47,077	60,265	28.0	2,616	2,886	10.3
バイオ関連事業	1,605	3,633	126.4	(2,360)	(2,453)	—
計	165,294	178,935	8.3	53,510	37,881	(29.2)
その他	10,306	2,001	(80.6)	1,415	(662)	—
消去又は全社	(1,074)	(1,757)	—	(5,376)	(6,558)	—
連結	174,526	179,179	2.7	49,549	30,661	(38.1)

(%表示は対前年同期増減率)

(金融サービス事業)

証券関連事業、銀行業、保険事業を中核とした多種多様な金融関連事業を行っております。

当第3四半期累計における収益は、115,037百万円(同1.4%減少)、税引前利益は37,448百万円(同29.7%減少)となりました。

(アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ、環境・エネルギー及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業、現地有力パートナーとの提携等による海外金融サービス事業及び金融商品の情報提供等を行う資産運用サービス事業を行っております。また、投資育成等のために取得したベンチャー企業等を連結範囲に含めており、同企業の行う事業が含まれております。

当第3四半期累計における収益は、60,265百万円(同28.0%増加)、税引前利益は2,886百万円(同10.3%増加)となりました。

(バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)(※)を活用した医薬品・健康食品・化粧品の開発・販売や、がん及び免疫分野等における抗体医薬・核酸医薬の研究開発に関する事業を行っております。

当第3四半期累計における収益は、3,633百万円(同126.4%増加)、税引前利益は2,453百万円の損失(前年同期は2,360百万円の損失)となりました。

(※)5-アミノレブリン酸(ALA)とは、体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸で、ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与するたんぱく質の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、かいわれ大根等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は3,336,851百万円となり、前期末の3,400,763百万円から63,912百万円の減少となりました。また、資本は前期末に比べ11,591百万円減少し、419,024百万円となりました。

なお、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は280,490百万円となり、前期末の290,826百万円から10,336百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,469百万円の支出（前第3四半期累計は71,481百万円の収入）となりました。これは主に、「営業債務及びその他の債務の増減」が52,468百万円及び「顧客預金の増減」が29,403百万円の収入となった一方で、「営業債権及びその他の債権の増減」が33,215百万円及び「証券業関連資産及び負債の増減」が69,256百万円の支出となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27,104百万円の収入（前第3四半期累計は60,699百万円の収入）となりました。これは主に、「投資有価証券の取得による支出」が35,609百万円となった一方で、「投資有価証券の売却及び償還による収入」が56,354百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、27,078百万円の支出（前第3四半期累計は23,921百万円の支出）となりました。これは主に、「長期借入による収入」が32,967百万円及び「社債の発行による収入」が19,984百万円となった一方で、「短期借入金の純増減額」が48,051百万円の支出、「自己株式の取得による支出」が10,029百万円及び「配当金の支払額」が9,640百万円となったこと等の要因によるものであります。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前期末 (2015年3月31日)	当第3四半期末 (2015年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
現金及び現金同等物	290,826	280,490
営業債権及びその他の債権	342,459	351,387
証券業関連資産		
預託金	1,250,678	1,241,454
信用取引資産	276,387	435,220
その他の証券業関連資産	601,695	436,297
証券業関連資産計	2,128,760	2,112,971
その他の金融資産	31,096	22,970
営業投資有価証券	114,946	106,494
その他の投資有価証券	193,064	168,403
持分法で会計処理されている投資	45,455	44,772
投資不動産	18,478	14,674
有形固定資産	10,590	11,361
無形資産	199,810	194,197
その他の資産	22,785	28,846
繰延税金資産	2,494	286
資産合計	3,400,763	3,336,851
負債		
社債及び借入金	374,771	367,062
営業債務及びその他の債務	55,005	111,829
証券業関連負債		
信用取引負債	97,757	29,052
有価証券担保借入金	290,480	369,850
顧客からの預り金	638,879	640,689
受入保証金	545,116	592,923
その他の証券業関連負債	388,161	242,755
証券業関連負債計	1,960,393	1,875,269
顧客預金	361,102	371,095
保険契約負債	170,042	157,701
未払法人所得税	13,792	4,214
その他の金融負債	13,757	12,403
その他の負債	12,034	9,921
繰延税金負債	9,252	8,333
負債合計	2,970,148	2,917,827
資本		
資本金	81,681	81,681
資本剰余金	148,676	147,213
自己株式	(5,137)	(14,146)
その他の資本の構成要素	36,934	26,979
利益剰余金	121,337	132,336
親会社の所有者に帰属する持分合計	383,491	374,063
非支配持分	47,124	44,961
資本合計	430,615	419,024
負債・資本合計	3,400,763	3,336,851

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期累計 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
	百万円	百万円
収益	174,526	179,179
費用		
金融収益に係る金融費用	(12,068)	(12,274)
売上原価	(41,256)	(56,842)
販売費及び一般管理費	(67,793)	(71,673)
その他の金融費用	(4,152)	(3,495)
その他の費用	(4,951)	(5,905)
費用合計	(130,220)	(150,189)
持分法による投資利益	5,243	1,671
税引前利益	49,549	30,661
法人所得税費用	(17,722)	(10,247)
四半期利益	31,827	20,414
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,490	20,254
非支配持分	(3,663)	160
四半期利益	31,827	20,414
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的(円)	163.92	95.29
希薄化後(円)	151.45	87.70

(要約四半期連結損益計算書の表示方法の変更について)

要約四半期連結損益計算書の表示について、従来、営業利益を表示し、営業に係る収益・費用とその他の収益・費用を区分して表示しておりましたが、当企業グループにおける収益獲得活動が多岐にわたり、その明確な区分が困難になってきたことから、営業利益を表示せず収益と各費用を表示する方法に変更いたしました。この変更に伴い、前第3四半期累計についても当期の表示方法に合わせて組み替えております。

要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期累計 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	31,827	20,414
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	(51)	289
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	22,873	(9,855)
税引後その他の包括利益	22,822	(9,566)
四半期包括利益	54,649	10,848
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	57,345	10,759
非支配持分	(2,696)	89
四半期包括利益	54,649	10,848

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期累計(自2014年4月1日 至2014年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2014年4月1日残高	81,681	152,725	(5,140)	16,225	80,140	325,631	62,832	388,463
四半期利益	—	—	—	—	35,490	35,490	(3,663)	31,827
その他の包括利益	—	—	—	21,855	—	21,855	967	22,822
四半期包括利益合計	—	—	—	21,855	35,490	57,345	(2,696)	54,649
募集新株予約権の発行	—	113	—	—	—	113	—	113
連結範囲の変動	—	301	—	—	—	301	(6,437)	(6,136)
剰余金の配当	—	—	—	—	(4,340)	(4,340)	(5,459)	(9,799)
自己株式の取得	—	—	(25)	—	—	(25)	—	(25)
自己株式の処分	—	1	28	—	—	29	—	29
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(2,571)	—	—	—	(2,571)	2,003	(568)
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	180	(180)	—	—	—
2014年12月31日残高	81,681	150,569	(5,137)	38,260	111,110	376,483	50,243	426,726

当第3四半期累計(自2015年4月1日 至2015年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日残高	81,681	148,676	(5,137)	36,934	121,337	383,491	47,124	430,615
四半期利益	—	—	—	—	20,254	20,254	160	20,414
その他の包括利益	—	—	—	(9,495)	—	(9,495)	(71)	(9,566)
四半期包括利益合計	—	—	—	(9,495)	20,254	10,759	89	10,848
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	3,387	3,387
剰余金の配当	—	—	—	—	(9,715)	(9,715)	(6,042)	(15,757)
自己株式の取得	—	—	(10,029)	—	—	(10,029)	—	(10,029)
自己株式の処分	—	111	1,020	—	—	1,131	—	1,131
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(1,574)	—	—	—	(1,574)	403	(1,171)
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	(460)	460	—	—	—
2015年12月31日残高	81,681	147,213	(14,146)	26,979	132,336	374,063	44,961	419,024

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	49,549	30,661
減価償却費及び償却費	8,729	8,255
持分法による投資利益	(5,243)	(1,671)
受取利息及び受取配当金	(47,401)	(54,356)
支払利息	16,220	15,768
営業投資有価証券の増減	13,601	7,703
営業債権及びその他の債権の増減	(55,740)	(33,215)
営業債務及びその他の債務の増減	49,455	52,468
証券業関連資産及び負債の増減	32,798	(69,256)
顧客預金の増減	18,533	29,403
その他	(27,262)	(10,275)
小計	53,239	(24,515)
利息及び配当金の受取額	50,140	53,393
利息の支払額	(15,805)	(15,091)
法人所得税の支払額	(16,093)	(19,256)
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,481	(5,469)

	前第3四半期累計 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	(3,459)	(3,986)
投資有価証券の取得による支出	(16,819)	(35,609)
投資有価証券の売却及び償還による収入	43,121	56,354
子会社の取得による支出	(199)	586
子会社の売却による収入	25,770	376
貸付による支出	(2,027)	(409)
貸付金の回収による収入	2,045	831
その他	12,267	8,961
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,699	27,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	8,651	(48,051)
長期借入による収入	41,827	32,967
長期借入金の返済による支出	(51,069)	(4,485)
社債の発行による収入	29,883	19,984
社債の償還による支出	(43,131)	(4,068)
非支配持分からの払込みによる収入	179	91
投資事業組合等における非支配持分からの出資受 入による収入	1,755	5,232
配当金の支払額	(4,319)	(9,640)
非支配持分への配当金の支払額	(430)	(382)
投資事業組合等における非支配持分への分配金支 払額	(5,043)	(5,496)
自己株式の取得による支出	(25)	(10,029)
非支配持分への子会社持分売却による収入	114	—
非支配持分からの子会社持分取得による支出	(941)	(3,670)
その他	(1,372)	469
財務活動によるキャッシュ・フロー	(23,921)	(27,078)
現金及び現金同等物の増減額	108,259	(5,443)
現金及び現金同等物の期首残高	276,221	290,826
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	14,650	(4,893)
売却目的保有資産への振替	(2,904)	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	396,226	280,490

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表注記

収益

	前第3四半期累計 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
	百万円	百万円
収益		
金融収益		
受取利息(注) 1	47,049	52,791
受取配当金	275	1,622
FVTPLの金融資産から生ずる収益	(4,109)	(1,115)
トレーディング損益	11,972	14,698
金融収益合計	55,187	67,996
保険契約から生じる収益(注) 2	21,765	32,583
役務の提供等による収益	51,447	56,835
子会社株式の売却益(注) 3	17,072	14
その他	29,055	21,751
収益合計	174,526	179,179

- (注) 1. 金融収益の受取利息は、償却原価で測定される金融資産から生じるものであります。
2. 保険契約から生じる収益は、前第3四半期累計では役務の提供等による収益に含めておりましたが、重要性が増したため、収益の内訳として表示しております。
3. 前第3四半期累計の子会社株式の売却益は、主にSBIモーゲージ株式会社(現アルヒ株式会社)の売却によるものであります。

重要な後発事象

該当事項はありません。